25年に売上高700億

商号をオリエンタルコンサルタンツHDに

ACKグループ

ACKグループは9月28日、2025年を目標とする新たなビジョンと中期経営計画をまとめた。25年9月期の経営目標は、売上高700億円(営業利益30億円)以上、社員数3100人(うち技術士1200人、博士80人)以上を掲げた。また、同日の取締役会において12月25日付で商号をオリエンタルコンサルタンツホールディングスに変

更することを決議した。12月21日開催予定の株主総会で定款の一部変更が承認されることとなる。
さらなる成長に向けた新たなビジョンでは、3つのキーワードを挙げた。「革新」は、事業の上流から下流まで実施する垂直統合と複合化による「総合事業」や研究開発の推進、総合事業を所定エリアで実施するエリアマネジメント

を展開。自ら投資してビジネスを行う事業経営や、官民連携の積極的な推進による「挑戦」に加えて、これらを展開するため、受動型から主導型にするため、受動型から主導型にビジネスモデルを転換する。「変革」により、さらなる社会価値の創造の実現を目指す。

19年9月期の経営計画は売上高540億円(営業利益21億円、営業利益率3.9%)、21年9月期までの3カ年経営計画では同590億円(同24億円、同4.1%)としている。

経営目標の実現に向けた強化方針には、インフラ整備・

保全や防災、交通(高度化・総合化)、地方創生、海外新規開拓の5つの重点化事業によるナンバードワン・オンリーワンの技術・サービスを確立する「個の強化」、国内はエリアマネジメントの全国展開、海外では拠点整備や新たなグローバルビジネスを展開する「国内外市場の競争力強化」、グループ内外のリソースを効果的に活用してブランド力の向上を図る「連携の強化」を図っていく。